



仕事と家庭の 両立体験プログラム



三重県



公益財団法人
三重県産業支援センター

企画・制作／公益財団法人三重県産業支援センター
事業部経営支援課 人材育成・就職支援班

厚生労働省採択事業

平成31年度三重県地域活性化雇用創造プロジェクト
「仕事と家庭の両立体験プログラム」(2020年発行)

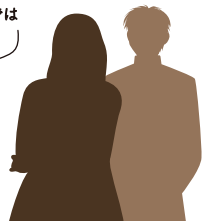


三重県雇用経済部雇用対策課
〒514-8570 三重県津市広明町13番地
TEL 059-224-2465 E-mail koyou@pref.mie.lg.jp

仕事と家庭の両立への理解を深め、自分らしく働くこと、
ずっと働き続けられるキャリアデザイン、
ライフデザインを描いてみましょう！

仕事と家庭の両立体験プログラム

普通のインターンでは聞けない話も相談できる!

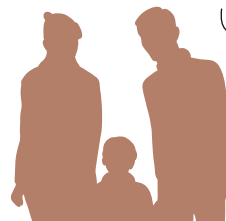


大学生(ペア)

両立体験・相談

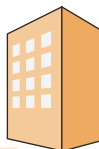


キャリア・子育ての話



企業で働く子育て社員

両立について改めて考えるきっかけに!



両立体験プログラム 1日のおおむねの流れ

企業等での体験

- 13:00 出社・自己紹介等
- 14:00 職場見学・仕事体験
- 15:00 先輩社員等へインタビュー
- 17:00 退社

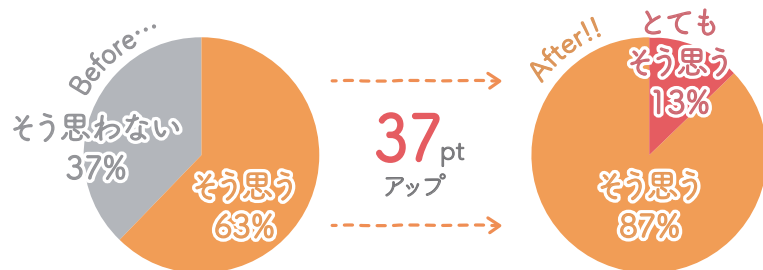
家庭での体験

- 17:30 社員とともに保育園にお迎え
- 18:00 社員宅を訪問
- 18:30 夕食、子どもとの遊び
- 20:00 仕事や子育てについてヒアリング

事前と事後のアンケートの結果

プログラムの体験を経て、働くこと・子育てをすること・両立へのイメージが具体的になり、それにより、前向きな意識が芽生え、両立に対する自信が持てるように変化しています。漠然としていたイメージが具体的になると、「大変な中でどう乗り越えて行くか」を考えていくようになる傾向が伺えます。

Q 将来の子育てに対して、悩みながらこなしていける自信がある



「将来の子育てに対して、悩みながらもこなしていける自信がある」という設問に対して、プラス回答は100%になり、事前より37pt向上しました。実際の職場で体験を行い、多様な社会人のライフキャリアを聴き、子どもに触れ合うことで多くの学生が今までは漠然と不安があったが、具体的に対応策についても検討でき、自分の生き方を主体的に考えるきっかけとなったと答えました。

多様性を受け入れる社内環境づくりを推進

万協製薬株式会社



スキンケア製品をメインとした外用薬の専門受託メーカーである万協製薬株式会社(多気町)は、会社が社員にとって自由なスタイルを受け入れ、出社するのが楽しくなるような環境をつくることを目標としています。

2020年度就職予定の三輪さんが体験へ。6歳のお子さんのいる山田さんに受け入れていただきました。

万協製薬は、様々な人が集まる環境を前向きに捉え、積極的に社員それぞれの夢を応援しています。例えば「自治会の会長を務めているので週3日

しか勤務できない」「子どもが夏休みの間は休ませて欲しい」など、それぞれの事情や要望に応じた働き方を認めています。

山田さんは、県外から転居してこれ、周りに知り合いが少ない中での仕事と育児の両立でしたが、社内の制度と周囲の理解に助けられ、保育園に元気に通うお子さんを育てています。三輪さんも県外から三重県内の企業に就職することになりますが、和気あいあいとした雰囲気と充実した制度が整っている企業があることを知り、就職が一層楽しみになったようです。

学生から見た企業の一押しポイント

育児休業・介護休業は3年まで取得可能です。「育児短時間勤務」も子どもが小学校を卒業するまでは短時間勤務正社員として働けるしくみがあります。育児休業は男性にも取得を推奨しており、1年近く取った人もいます。また、1時間単位の有給休暇取得も可能で、予防接種や授業参観などに効率的に活用できます。



三重大学
三輪愛結美さん

仕事と育児を両立するイメージが明確に!

思っていた通りの明るく楽しい会社であると改めて感じました。仕事と育児の両立を支援する制度も充実しており、自分自身が働き、子育てしていくイメージが明確になりました。



男女ともに支え合う職場と家庭

生活協同組合コープみえ



より良い生活の実現を目指す生活協同組合コープみえ(津市)は、女性の活躍推進三重県会議で「女性がイキイキと働く企業」10選に選出されています。今回は松阪センターの奥永さん(父親)に受け入れていただきました。

職場体験では、店舗見学や生協のエシカル消費を知る一環として試食学習等をさせていただきました。将来、食や農業に関する仕事をを目指す2人の学生にはコープみえの仕事内容や商品の誕生の歴史や工夫・こだわり、安全に対する配慮を知ることができ、学生にとって将来に向けて、大変参考になったようです。

奥永さん一家には、明るく元気なお子さんが3人います。体験当日は、賑やかに迎えていただきました。帰宅するとおとうさんが夕食の準備に取りかかり、その間、3人のお子さんとたくさん遊ぶことができました。3人が仲良く遊んでいる間に、ご夫妻でお話しの忙しさをお互いにカバーしている姿に、憧れを抱いた学生。それぞれの家庭ごとに大変な要因は異なりますが、それを対話によって解決していく夫婦を目指したいと感じたようです。

学生から見た組織の一押しポイント

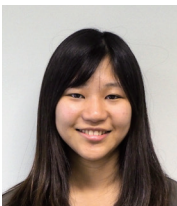
男性職員も育児のための短時間勤務制度を利用しており、男女問わず、制度を使えるように積極的に組織が支援している点が素晴らしいと思いました。また、男性の育児休業取得者も積極的に支援しているそうです。



三重大学
香山睦実さん

忙しさをお互いにカバーする夫婦を目指したい!

私が知らない父親像がここにはありました。それぞれの家庭らしさがあると気づきました。夫婦で話し合って日々の悩みを解決できるようになりたいと思いました。



三重大学
下村菜未さん

自分の生き方を考えるきっかけになった

今までは漠然としか子育ての大変さを感じていなかったのですが、具体的にどんなことが大変なのかを多方面から学ぶことができ、自分の生き方を改めて考えるきっかけになりました。

3

周りの良い関係を築き、自分らしく仕事と育児の両立を!

ミサワリフォーム関西中部株式会社



ミサワホームグループのミサワリフォーム関西中部株式会社(四日市市)で、住宅のリフレッシュから、耐震・エコ・ユニバーサルデザイン改装まで、住宅リフォーム全般を手がける部署で活躍する加藤さんに学生を受け入れていただきました。ここは、子育て中の社員にも寛容な職場で、子ども連れで出勤することがあるというお話に学生はびっくり。社内にある子どものプレイルームでは、社員のお子さんとお客様のお子さんが仲良くなり、子育て話に花が咲くこともあるとのことでした。

また、加藤さんは、社内第1号の育休取得者。出産前の職場と同じ職場に復帰した後、育児をしながら学校に通い、二級建築士資格を取得した経験も聞かせていただきました。その姿勢から家庭や仕事の環境が変わり続けても、その時々でできること、やりたいことに挑戦することが大切だと学びました。周囲の方々と良い関係を築き、助け合いながら、自分らしく両立する道を切り拓く加藤さんの姿に学生はとても刺激を受けました。

学生から見た企業の一押しポイント

女性の採用・育成に積極的な企業と感じました。社内にある子どものプレイルームはとても快適・安全で、職場に社員が子ども連れで出勤することができるしくみは、育児をしながら働く社員にとって非常に助かると思います。



名古屋大学
松林里歩さん

体験を通じて仕事と家庭の両立イメージが鮮明に!

この体験では、家庭のことや自分自身のこと、そして、長期的なキャリアを考える機会が多く、より仕事と家庭を両立させるイメージを鮮明に持つことができました。



三重大学
橋克輝さん

将来ありたい家庭の姿がイメージできた

建築を学んでいる僕にとって、企業内体験で建築現場の見学は刺激的で、自分が目指すビジョンを確信しました。家庭内では将来の家庭像をイメージすることができました。

4

制度の充実とともに、制度を使いやすい雰囲気も大切

富士ゼロックス三重株式会社



複合機やプリンターを中心に「オフィスで起こっている様々なお困りごとを解決」する富士ゼロックス三重株式会社(津市)では、子育てと両立して働くことができる制度を積極的に取り入れており、より、働きやすい環境づくりがすすまっています。

今回は、3人の学生を2家庭で受入れていただきました。企業内の体験では、仕事と育児を両立するための制度をご紹介いただきました。また、様々な立場の先輩女性との懇談の場も設けていただきました。

1人目の受け入れ家庭は、戸木田さん。1歳半のお子さんがいます。学生は慣れるまでは少し緊張しましたが、徐々に慣れていくと、お子さんに食事を食べさせるサポートも!

体験翌日も「おねーちゃん、来る?」と聞いてくれるほど、お子さんにとっても思い出に残る時間となったようです。

2人目の受け入れ家庭は、東口さん。1歳半のお子さんがいます。保育園へのお迎えから体験させていただき、仲良く、滑り台などをして遊ぶことができました。2週間後にお伺いした2回目では、お子さんができることがすごく増えていました。「こんな短期間にぐっと成長するんだ!」と驚き、感動した学生。育児の喜びを感じることができたようです。

一方で、夕食の時間は、あわただしい育児の一幕も拝見。お子さんを抱っこしながらお食事の用意をしたり、ご自身もお食事をされている姿を見て、大変さを感じたようです。

大変なこともありつつも、パートナーと会話しながら、仕事と育児の両立をされる東口さんの様子を尊敬しつつ、周囲と協力しながら仕事と育児を両立することの大切さを実感したようです。

学生から見た企業の一押しポイント

有給休暇を上司が積極的に取得していることで、社員全体が有給休暇を取得しやすい雰囲気があります。その結果、時間に制約がある社員も過度に遠慮しないで、休みやすい雰囲気につながっています。そして、従業員が日々の始業・終業時刻を自身で決定して働くことができるフレックスタイム制度は、子どもの体調不良等でも臨機応変に利用でき、とても便利に感じました。普段から上司と部下が気軽に話せ、相談しやすい雰囲気があるのも富士ゼロックス三重株式会社の大きな特徴です。



三重大学
石谷梨那さん

柔軟な思考でゆったりと構えたい

今までは「仕事と家庭の両立は大変!」という認識でしたが、仕事と家庭どちらもあることで得ることも多いと感じました。前向きに両立していくために、柔軟な思考でゆったりと構えたいと思います。



三重大学
畑中麻緒さん

お子さんの可愛らしさに自然に笑顔に

今まで小さいお子さんと接することがあまりなく、仲良くできるか正直不安でしたが、自然と笑顔になってしまうほど、お子さんは可愛らしく、とても楽しく過ごさせていただきました。



名古屋工業大学
石田優大さん

全てが未知の世界。忘れられない経験になった!

本当に全てが未知の世界でした。お子さんの成長を間近で見ることができ、自分たちなりに試行錯誤を繰り返した2日間は、忘れることのない貴重な経験となりました。

※本レポートに含まれる所属・年齢などはすべてプログラム実施時のものです。

〈参考資料〉ニッセイ基礎研究所「大学卒女性の働き方別生涯所得の推計」

働き方ケース	生涯所得
同一企業 正規雇用 出産等なし	2億5816万円
同一企業 正規雇用 育休2回	2億3008万円
正規雇用・出産退職後非正規フルタイム	9670万円
正規雇用・出産後退職後パート	6147万円
正規雇用・出産後就業せず	3795万円
フルタイム非正規 出産なし	1億1567万円
フルタイム非正規 育休2回	1億1080万円
フルタイム非正規出産退職後 パート	4806万円
フルタイム非正規出産後退職 就業せず	2454万円

久我尚子「大学卒女性の働き方別生涯所得の推計」ニッセイ基礎研所報VOL61(2017年)より作成

※生涯所得＝生涯賃金＋退職金(正規雇用者のみ)

※いずれのケースも、大学卒業後、2人の子どもを出産

(厚労省「人口動態統計」を参考に第1子31歳、第2子34歳で出産すると仮定)

※育休取得のケースは子ども2人、それぞれ1年間の育休取得。フルタイムで同一企業に復職し、60歳退職とする。

※出産退職のケースは第1子出産時に退職し、第2子が小学校入学時に再就職し、60歳退職とする。

生涯所得の推計結果から大卒同一企業勤務女性の生涯所得は2億6千万円、育休2回・時短でも生涯所得は2億円超、出産退職は2億円のマイナス。一方、非正規社員では半分以下に。